

質問 水野（吉）議員（公明・岐阜市）令和7年10月2日（木）

1 次世代型路面電車（LRT）導入を含む岐阜圏域のまちづくりの進め方について

答弁 知事

昨日のご質問でもお答えしましたが、岐阜圏域のまちづくりにつきましては、私が選挙や知事就任時に掲げました目指すべき10の目標、ここからまちづくりの核となる要素を抽出いたしまして、「目指すまちづくりの5本柱」、これを設定いたしまして、関係者と協議を進めることとしております。

5本柱と言いますのは、第1に「こどもやお年寄り、すべての人が輝くまち」、第2に「クリーンで環境に優しい洗練されたまち」、第3に「巡って楽しい便利で快適なまち」、第4に「人やモノを呼び込む魅力豊かなまち」、そして、最後に「災害に強く安全で安心なまち」でございます。

これら5つの柱に基づきまして、まちづくりを進めるための方策の一つが交通施策の見直しであり、次世代型路面電車いわゆるLRTを有力な候補として、関係者と協議しながら、調査・検討を進めているところでございます。

こうした岐阜圏域のまちづくりにつきましては、これまでも私自身が岐阜市長さんや羽島市長さん、そして鉄道事業者、経済界の皆様と直接お会いし、意見交換を行ってきたところでございます。

また、同時に両市との間では、事務方レベルの勉強会、これを既に行っておりまして、LRTの導入を含むまちづくりについて、情報共有をしてきたところでございます。

そうした中で、岐阜市長さんから検討を進めるに当たって5つの課題、これを示していただくとともに、こうした課題に一つずつしっかりと対応しながら進めていく重要性についてもご指摘をいただいたところでございます。

今回指摘していただきました5つの課題は、いずれも公共事業を進めるうえでクリアすべき必須項目ばかりでございますので、それぞれ丁寧に関係自治体や交通事業者、警察などの関係者との調整を進めてまいります。

また、先月には、岐阜圏域のまちづくりにつきまして、広く経済界、商店街、交通事業者も交えた懇談会、これを開催いたしまして、様々な立場の方々と意見交換を行いまして、そこでは「単なる交通再編ではなく、まちづくり全体として考える必要がある」とか「LRTと連携し、賑わいを生み出す取組をしたい」とか「ウォーカブルな（歩きやすい）まちに向けた取組を進めたい」、あとは「コンパクトシティ化を進め、交流人口を増やしたい」といったご意見をたくさんいただいたところでございます。

今後とも、関係者と連携・協議しながら実現可能性を含めた調査・検討を進めるとともに、今年度末を目標にいたしまして、岐阜市や羽島市、交通事業者、警察等、関

係機関で構成いたします検討体制、これを構築いたしまして、既存の交通システムの見直しを含めた新たな交通システムのあり方など、丁寧に議論を進めてまいりたいと考えております。

また、こうした中で、一定の議論が進んだ段階で、検討の状況について、積極的に情報を開示するなど、県民の皆様のご理解を得ながら、岐阜圏域のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

再質問 答弁 知事

今、議員ご指摘のとおり、LRT につきましては本当に多くの方が関心を持っていたいております。今現在も、私宛てに直接説明に来て欲しいという要望もたくさんいただいております。そうした中で、まずはその必要性等については、ご説明いたします。

その上で、今回の調査でお願いしておりますように、ある程度具体的なかたち、ルート、その事業性についてしっかりしたものを作ったうえで、県民の皆様の意見はぜひ伺いしたいと思っておりますので、それは、具体的に進めていきたいと思っております。

担 当 課 都市政策課

電話番号 058-272-8628

メー ル c11654@pref.gifu.lg.jp